

## 東京都立武蔵丘高等学校 平成23年度学校経営計画

平成23年4月27日 校長

### 1. 武蔵丘高校が目指す学校像

本校は、「学力向上開拓推進校」「部活動推進指定校」として生徒や中学生、保護者等に示してきた構想をさらに発展させた「重点支援校構想」を軸に下記の経営計画を策定し、全ての教職員、組織の智恵と力を相乗させて実現に力を注ぎ、生徒と保護者、都民の期待に応えていく。

#### 人を育て、学力を磨き、進路の夢を実現する中堅上位の進学校

- 富士山のように裾野が広く、バランスの取れた資質能力と豊かな感性を育む「全人教育」に取り組み、コミュニティの礎となる「友との絆」「利他の志」を磨くまなびや
- 生徒の特性を捉えて学力を伸ばす教育課程を編成するとともに、自ら学びに向かう態度を培って学力の向上を図り、予備校に依存せず国公立やMARCHレベル以上の大学に合格できる中堅上位の進学校
- 使命感と連帯感にあふれた教職員がこの生徒への愛情は誰にも負けないという気概をもち、生徒を叱咤激励しながら支え導く学校

目指せ 学力と受験力の向上、自学自習の習慣化!

目指せ 国公立・MARCHレベル以上に進学できる「中堅上位の進学校」都立の星!

目指せ 「友との絆」「利他の志」にあふれ、バランスのとれた全人形成!

#### 生徒の特性を捉え、学力を最大限に伸ばす教育課程と学習指導

【教育課程】 隔週土曜授業、主要教科の増加単位と習熟度別授業、国公立・私大コースの検討、文理の類型制の継続、3年での選択必修による徹底演習などを進める。  
【学力向上推進プラン】 「学力向上開拓推進校」として、学力分析、自学自習ガイダンスと診断テスト、自学自習定着週間、朝学習、土曜・休業中講習などに取り組む。

#### 富士山のようにバランスの取れた資質能力と豊かな感性を育む全人教育

【キャリア教育・進路指導】 キャリア教育を進め、生き方や進路を模索し「利他の志」を培う。  
【部活動・特別活動】 生徒に委任して主宰する指導で取組を充実させ、友との絆や向上心、学校への帰属意識を育む。  
【生活指導】 「品格と規律ある自由」をモットーに、社会の一員としての資質や能力の向上を図る。  
【保健指導】 整然とした快適な環境の創出に全校をあげて取り組むとともに、心身の健康を維持し、高める



生徒への愛情は誰にも負けないという気概を日々の教育に具現し、生徒を粘り強く支え導く、使命感と連帯感にあふれる教職員



### 2. 重点課題と対応策

#### (1) 学習指導

「学力向上開拓推進校」として、本校生徒の学力を捉え、将来の進路を考えさせながら学ぶモチベーションの高揚と、自学自習の習慣化を意識し、学び甲斐のある魅力ある授業を創造することが第一の鍵である。また、本校での学習だけで十分な学力・受験力を身につけられる教育課程を編成することが第二の鍵である。それを通じて、本校では以下を踏まえた学習指導を進める。

- ・基礎学力の定着を図り、バランスのとれたより高い学力・知力・体力と豊かな感性を育む。
- ・キャリア教育を年間の指導計画に位置づけ、教科の特性を生かして人間としてのあり方生き方を模索させる。
- ・センター入試に対応でき、国公立やMARCHレベル以上の大学に合格できる学力を育てる。

#### ①土曜授業の効果的で円滑な実施と活用

- ◎ a) 生徒の学力向上と全人形成を第一義に据え、教科・分掌・教員等が土曜授業のより効果的な展開に努める。
- b) 教職員間の意思疎通や職務の円滑な遂行に留意するとともに、課題は全校をあげて工夫し解決を図る。

#### ②教育課程の充実と展開

- a) 国・英を増単した趣旨を生かし、生徒の特性に対応した指導計画を策定し、効果を確認しながら進める。
- b) 年間授業計画は、学力向上と全人教育の視点から内容の充実を図り、4月上旬に配布し、活用を図る。

- c) 3年選択は、国語や英語での上位・中位対応科目の併設、選択必修化の検討を図り、履修指導を徹底して選択させ、受験対応演習の充実に努める。登校時間を揃える工夫、空き時間対応にも全校で協力して対応する。
- d) 目指す学校像を具現化する24年度からの新教育課程を5月中旬までに確立し、指導計画の具体化を進める。
- e) 生徒の状況を捉え、適切な学習指導や単位認定のあり方、進級・卒業規定の検証と検討を行う。

### ③「学力向上開拓推進校」事業の推進

- a) 学力調査を国・数・英・社・理に拡大し、効率的で効果の高い調査・分析方法を研究開発する。入学時の学力の定点観測、学力の伸び具合や特性の経年変化等を調べて「学力向上推進プラン」を策定して推進する。
- b) 「いい授業創造プロジェクト」が推進役となって上記の取組みを進める。相互の授業参観、学力向上授業改善研究誌「恋文、そして挑戦状」の一層の充実に努める。

### ④自学自習の習慣化・定着

- ◎ a) 自学自習ガイダンスと定着週間の充実に、各教科の指導の工夫と継続により、自学自習の習慣化を図る。
- b) 朝学習は、担任と副担、学年と各教科とが協力して出題や採点等に当たり、定着に努める。
- c) 英語検定や漢字検定を1年次からのキャリア教育の一環に組み入れ、受験奨励策を検討しながら組織的補習や校内受験を充実させて取り組む。英語や国語以外でも資格取得への取組を検討する。
- d) 日常、週休日、長期休業中の講習を計画的に進める。「勉強頑張り部」(仮称)を新設し、試行する。
- e) 図書館の利用頻度を高めるとともに、自習室の活用をさらに促進する。

### ⑤けじめある授業の徹底

- ◎ a) チャイム着席・始業、きちんとした挨拶、机上の整理、ゴミの落ちていない整理された美しい教室などに、教員の誰でもがいつでもどこでも協力して取り組む。

#### 《数値目標》

自学自習関連事業 ガイダンス4回、定着週間2回

自学自習時間 1年：1時間35%、2時間以上15% 2年：2時間25%、3時間以上15%

土曜日講習10講座、長期休業中補習50講座、教員相互の授業参観126回、生徒の学習指導満足度70%

英語検定2級5名、準2級50名(1年準2級15)(2年：2級2、準2級25)(3年2級3、準2級10)

漢検 受検者数25名(校内実施)、シスアド 受検者数5名

## (2) 進路指導

進路指導部が主導し、他の分掌・学年と連携して3年間にわたる系統的で組織的な進路指導計画を策定し、各学年・担任が協力して生徒の進路意識の涵養と進路実現を図ることが第一義的な課題である。

### ①進路指導部が主導する指導の確立とキャリア教育の推進

- ◎ a) 進路指導部が主導し、3年間の系統的で組織的な進路指導計画を策定し、全教職員が協力して進める。昨年度の「3年ゼロ学期」を生かし、1、2年次から前倒しでの進路・受験指導により意識を高め、取組を促す。
- b) 総合委員会が、キャリア教育・奉仕を組み入れた総合的な学習の時間の計画を立案し、試行を重ね推進する。
- c) 生徒が読書に親しみ、思索を深め、人間としての幅を広げるよう全教員が意識的に取り組む。

### ②生徒へのフィードバック

- a) 進路学習や生徒面談をホームルームの指導計画に位置付け、進路意識の涵養とガイダンスに努める。
- b) 学力診断テストや外部模試等の結果を生徒にフィードバックし、学習意欲の向上につなげる。

### ③生徒の進路モチベーションの高揚

- ◎ a) 生徒のモチベーションを高め、安易な妥協を廃し、より高い志と目標をもって受験に臨むよう導く。
- b) 推薦やAOなどで早期に合格した生徒が入学後により良く適応できるよう英検や漢検等の受検を指導する。

#### 《数値目標》

希望進路の実現率70%、上中位の大学等への現役合格者数100名

専門学校・就職希望100%、進路意識啓発事業10回

### (3) 生活指導と保健指導

【生活指導】「品格と規律ある自由」を目指し、「誉めて認めて励ます」「言って聞かせて待つ」指導を基本に、いつでもどこでも誰でもが取り組む。また、災害等の発生に対して迅速に対応できる体制を整える。

#### ①重点指導項目の設定と取組ほか

- ◎ a) 「品格と規律ある自由」の精神を浸透させ、遅刻の防止、挨拶の励行など重点指導項目を設定して、生活指導部と学年、生徒会やクラブ協議会等が協力して取り組む。
- b) 自転車通学での安全と駐輪場の整理整頓を確保する指導を強化する。
- c) 災害の発生等に対し、生徒自身が生命の安全を確保し、主体的に適切な対応がとれるように日頃から導く。
- d) 生活指導上好ましい取組に対して、特別に賞を設けて称揚する。

【保健指導】「心身の健康」「安全・安心」を大切に、保健部や当該委員会を核に教職員各層の協力体制を強め、専門家や関係機関との連携も密にし、組織的で早期かつ迅速な対応を図る。環境の整備や美化を、学習指導と同じ価値ある指導と位置づけ、丁寧に指導して習慣づけていく。

#### ①心身の健康と安全の維持

- ◎ a) 教育相談・特別支援委員会、学年、担任、教科、部顧問、管理職等が連携し、課題の早期発見と解決に努める。
- b) スクールカウンセラーの配置に当たり、設備や体制を整え、より有効に活用できるようにする。小会議室、社会準備室、生徒相談室をカウンセリングや生徒面談等、多目的に使えるように23年度初頭に整える。
- c) 関係機関と連携し、心身の健康や安全等をテーマに生徒や保護者の意識を啓発する取組の充実を図る。

#### ②環境の美化

- ◎ a) 「毎日掃除する学校」を合言葉に、土曜授業日も含めて教室や特別分担区域の清掃指導に全教員が協力して取り組む。とくに、特別分担区域の清掃、3学年による清掃活動の徹底にも力を入れる。
- b) 清掃等に熱心に取組み、その成果が顕著なホームルーム等を表彰して称揚する。

《数値目標》【生活指導】遅刻者1日クラス当たり1年1名、2年1名、3年2名以内

【保健指導】心身の健康づくり事業の開催等2回

### (4) 特別活動と部活動

全人教育の大切なフィールドであり、目標を明確に設定し、生徒に委任して主宰する指導の充実を図り、計画的に取り組むが進むように支え導き、達成感や成就感、学校や集団への帰属意識を育むことが鍵である。

#### ①特別活動の充実

- ◎ a) 「生徒に委任して教員が主宰する」を基本に、互いの経験を交流・記録・改善しつつ取組の充実に努める。
- b) 体育祭は、保健体育科の年間指導計画に位置付け、運営のさらなる改善と充実を図る。
- c) 文化祭は、創意工夫を発揮し、各団体の企画の充実と計画的な取組、後夜祭の改善に力を尽くす。
- d) 英語暗誦大会と合唱祭は、22年度の成果を土台にいっそうの充実に努める。
- e) 入学式や卒業式は、厳粛な中に思い出に残る、心のこもった展開を工夫する。
- f) ホームルームでは、仲間づくりや進路学習等をテーマに年間の計画を立てて展開する。
- g) 生徒会では、友との絆や利他の志を高める視点に立った活動に取り組むよう指導する。

#### ②「部活動推進指定校」の取組

- ◎ a) 師弟同道を基本に指導の充実を図り、心技体のいっそうの練磨に努める。
- ◎ b) 部活動と学習とが相乗する展開を、全教員、全顧問が導き、クラブ協議会の機能も活かして試行する。
- c) 自律経営推進予算や推進校予算、生徒会予算等を一本化し、重点を明確にして予算を立て執行する。
- d) クラブ協議会の機能を生かして、競技会等の成果を適時に集約し、Webサイトに掲出できるようにする。
- e) 「部活動報告書」の質的な向上を図り、「部活動推進指定校」としての取組や成果を学校内外に紹介する。
- f) 一定レベル以上の成果を収めた部活動を対象に、「特別功労賞」や「功労賞」を設けて成果を称揚する。

《数値目標》【部活動】加入率97%、前年度より取組実績を高めた部活動10部、地域貢献事業4回、

都大会レベル16位以内(相当を含む)5部 【特別活動】学校行事満足度70%

## (5) 広報・生徒募集活動

学校説明会等で中学生とその保護者に説明した教育活動の改善充実に全校が一丸となって取組み、成果につなげて本校への信頼や期待を高めることが基本である。その上で、22年度の取組をベースに、積み上げ型で活力ある広報・生徒募集活動取組を展開し、本校を第一志望とする、資質能力の一層高い生徒を入学に導く。

### ①教育活動の充実、入学選抜方法の検討

- 重点支援構想や経営計画に示された育課題の解決に全教職員が協力して取組み、その成果と取組む姿を中学生や保護者に伝えていく。
- 3年生の進路実現を全校で応援し支え導き、広報や生徒募集活動にも生かしていく。
- 文化スポーツ等特別推薦、男女定員制の緩和を継続し、さらなる改善策についても検討する。

### ②広報・生徒募集活動の充実

- 22年度をベースに、取組を質と量の両面から充実させ、Webサイトの充実、中学校出前授業や出張説明会、体験授業、部活動体験、学校説明会等により、本校を第一志望とし学力と向上心の一層高い生徒を確保する。
- ホームページの管理運営と生徒募集活動との一体化をさらに進めるとともに、広報・生徒募集プロジェクトを全教職員が盛り立て、全校をあげた広報・生徒募集活動を推進する。
- 23年度の教育課程の円滑な実施を図りつつ、24年度以降の新教育課程のアピールに工夫を凝らす。

《数値目標》中学生第一希望調査 1.25倍以上、中学校・塾の訪問回数 200回

中学校での説明会・出張授業等への講師派遣 10回、学校説明会・体験授業等参加者数 3,000名

## (6) 組織的な取組の強化・充実

本校が目指す教育を実現する鍵は、教職員の自己革新的な取組、そして団結と連帯の強化にある。つねに学校全体に目を配り、課題を発見して解決に努めるとともに、「風通し」のよい環境づくりに努め、可能なかぎり負担の公平化に努めて課題の適時で円滑な解決に努めることが重要である。

### ①業務の引き継ぎ、PDCAの徹底

- 異動が多い状況、土曜授業に伴う週休日の代替等を踏まえ、職務が円滑に積み上げ型で行えるよう、文書やデータでの引き継ぎや相互のコミュニケーション等の徹底を図る。
- 経営計画を具体化する学年や分掌での計画の策定、夏季休業中における中間総括、年度末における総括等を行い、PDCAサイクルを生かして自己革新力に富む取組を進める。

### ②主幹会議・企画調整会議の充実、快適な職務空間の創出

- 主幹会議と企画調整会議を定例開催し、確認事項の学年・分掌での周知を徹底する。
- 学年代表も含めた分掌会等が定期的に開催できるよう工夫に努める。
- 職員室の執務環境の改善・充実・整理整頓に努め、生徒への範とするとともに円滑な職務遂行を図る。

### ③予算の効率的な活用

- 経営計画を実現する視点から重点化を図り、限られた予算を学校教育の充実のために有効に活用する。

### ④危機管理の徹底

- 生活指導部を核に、事故を未然に防止し災害等に迅速に対応できる危機管理体制を全校をあげて構築する。
- 個人情報管理を徹底する。また、国や都の方針を踏まえ、震災に伴う節電に組織的に対応を図る。

### ⑤武陵会・武蔵丘同窓会との協力

- 保護者会出席者の増加、武陵会役員会への教員代表の参加、「保護者と教師の集い」、授業公開の促進を図り、武陵会との連携を強化し、早期からの対応や運営の改善を図る。
- 卒業生の同窓会への100%加入を促進する。同窓会との連携を強化し、教育活動の充実につなげる。くぬぎ林をはじめ校内の自然環境の整備充実に、同窓会と協力して取り組む。

《数値目標》個人情報を含む事故ゼロ

※以上の計画は、随時更新し、上方修正しつつ取り組むこととする。

#### 自己申告<学校経営への参画(学校運営)>

【主幹教諭】教職員の人材育成について必ず記入する。副校長と連携し、分掌所属職員の能力開発を効果的に行う具体的職務を申告。

【主任教諭】学校運営等に関する教諭等への助言・支援について必ず記入。主幹教諭や副校長を連絡相談し若手教諭等の指導育成を組織的に行う具体的な職務を申告。